武官室發表

日發國通】海軍武

助の商船會社倉庫は敵軍のた

商船會社倉庫

放火さる

三業組合品

及び大連に引揚げ

殆ど引揚げたが、情勢の逼迫に鑑み理餘の在省邦人嶋女

なにもおれが典有ださいふわかるこさを……』

お互にこうして努力してゐる。

銀座キネマ

◇近日公開◇

キノ正成監督

新京キネマ

り、その……滋趣講師の坊主けじやねえか?つま

んじやないか?」 「なるほで!

新京キネラ

悪化の光があるので一蹶大連まで引揚げるこ一日緊急役員會の結果、青島の事態いよいよいよ

午後六時出机浮島丸で五百九十名の潔離者が引

一日も朝から監護として避難者が機構に詰の所能で二千名の婦女子が引揚げたが、廿の所能で二千名の婦女子が引揚げたが、廿

それが、ごうして共有出来ま

て、それでいいんだつたら、

常職でかんがへてもわ

とれがため公

だせ、人間が動物のまとてありながあう。 大いに違ふ、動物でありながらだん (遊れる) ながらだん (遊れる) かい ? 人間では動物のまとてありながらう

弱點 記予告籍

久松美津技主教

江戶

太平記

むきになってひざをの

でい や、

同じちやないですか

11.50 3.20 7.10

1.55 5.45 9.35 2.00 5.50 9.40 10.5283

金太(後編)

豐樂劇場

ちゃつきり

エノケンの

樂園。合唱 果邦オンパレード

『動物の進化したものだ』できうに口をいれた。

『人間は動物じやないんです

日より33日まで

日午後九時半副官談の形に東京國通』海軍省では

(B)

高射砲を浴びつ

日の戦

闘

ば、中興路の最調及び十七 の最線において濃りたる敵の最終的近

副官談

糧食、銃砲彈の缺乏で

上海支那軍動搖

午後税警職、便衣職は滄口

正規兵も便衣隊化す

々引揚げ

学に敵は多大の精神的れに加へてわが空隍部

楊樹浦方面火災

海軍機

南

市方

南市方面から射ち出す敵

っ、十七十、大学は難線附近に放棄しあ 、大学は難線附近に放棄しる。

業の根本條件として外國銀行 開業すること」なつたが、開 の上海外國銀行は廿三日より

が 動と中央三銀行側との間に成 でした諒解事項は左の如くで

対外はこれを基準にその日 の英米タロスをもつて算出 したるシートにては替の費 したるシートにては替の費

てともに欣然たるものありれを観る者、献金の衆志あつ

それを全ごろ、ほんごか覧けださいふのよ、ロシアの婦人が日に日に解放されてある 大が日に日に解放されてあるこさは、日本の婦人懸認にさ

週間振りに開業

意気に感動させられる とゆくに贈らぬ覺悟、パラ

百萬

キモ

の妹

3

実に冴えてるやう数の爆音高く、潮やく迫る秋数の爆音高く、潮やく迫る秋

きであら

室、この際綺麗に排拭すべ撃北に於ける去冬來の彼の

2040 6040

兩 12.00 3.35 7.16

1-12 1-50 8-28

日座

中央三銀行は對英一志二

の包圍にあひ

紡績工場危險

[長辛店廿二日發國通至急報]廿二日午前七時廿五分わが飛行機○機は揚子崗陀里村の敵陣地約一時間に亘り敵陣一帶に猛烈なる砲火を浴びせ、敵に多大の損害を與へた[長辛店廿一日發國通]五家庄、坨里村一帶の高地を占據せるわが軍は、廿一日午後七時より廿一日午後六時左右高地に據つて頑强に抵抗しつゝあるので、わが軍はこれを猛撃中である[長辛店廿一日發國通]わが方の猛撃に揚子崗蛇里村一帶の高地を捨てゝ潰走せる敵の一部は「長辛店廿一日發國通」わが方の猛撃に揚子崗蛇里村一帶の高地を捨てゝ潰走せる敵の一部は

に北平廿一日愛園通』北平地 方維持會は成立以來観意財政 の整理を急ぎつゝあつたが、 一九日その第一着手として左

服

役中の陳獨秀

の 三年に減刑の命令を出し釋放 せしめることに決定した、こ れは人民職線及び共産黨一派 が馮玉祥等と連絡、政府部内 に勢力を得、國民政府の國民 職線が容共親ソの方向に進み つゝあることを物語るもので

の爆撃!

不逞内蒙を狙ふもり

火事泥的穩性

へ画

0)

日

京政府なよび翼察政権の徴税 である

き残存せる一切の南部河北邦花園酒局家級統務局。

六月卅日より徒刑八年の判決、一定胤領袖陳獨秀は民國廿三年

委員會財政處

に向って猛烈な爆撃を開始した

一級線懐來を空襲

で粉砕して○○基地に歸還したで粉砕して○○基地に歸還した。

〇〇兵團方面の 戰況は極めて有利に 進展し敵に多大の損害を與へ廿

軍のため掠奪されたとか或は 人引揚げ後同仁街病院は支那【腎島廿一日營國通】濟雨邦

との報道に関し言下にさる事

內敏春氏

なりと日

戦智に書いた。 とワシントンに報告せり とワシントンに報告せり

嚴重調査を指令し 以下三名の調査委

(上海廿一日登國通) 廿一日 原理落下、死傷十名を出した 是理落下、死傷十名を出した ことは既報の通りであるが。 即死者は満洲ペイントの趙愚

ガスタス艦長キンケ

北平地方維持會

五徵粉

死機關接收

北支及び在滿星軍将兵尉問の北支及び在滿星軍将兵尉門の野溝勝兩氏は同日午後六時十分着あじあで二日午後六時十分着あじあで二日午後六時十分着あじあで三氏分別車でそれた。

聚年で計支のの

行廿二日着

財政整理を急ぐ

湾南治安全し 邦人引揚げ後の

入しありし約三千の支那軍に對し廿日夜半より攻撃を開始せる關 東軍[關東軍二十二日午後零時半發表]=張家口北 方長城を越えて内 蒙に侵

戦況極て有利に進展

心約三千の支那軍に對し廿日夜半より攻撃を開始せる關

入しあり

日午前十時完全に長城線を占領し目下潰亂せる敵を追撃中なり

一帶高

地に據る

軍を撃退

ては直ちに射撃する筈とは直ちに射撃したが、調査をに射撃したが、調査 たる傅馬船を登

の言明通り拾安が維持されて

機點に

く事實無根で同地は韓復渠氏 か方の確めたところ、右は全 が方の確めたところ、右は全 が方の確めたところ、右は全

陸通信証等併社に對し新聞通のが若干あったが、今回天津のが若干あったが、今回天津 信の發行を許可した 以來天津に於る支那

天津治安維持會 に發行許可

支兩銀行間の直接關係は 至つてゐる、

をいふじやないか!

態愛の語(一)

(七0)

中央三銀行はこの際邦人中央三銀行はこの際邦人 銀を通

法幣をもつて行ふ

なえや。しかも想愛なんで考れるや。しかも想愛なんで考れてもはじまらん。 相手が女 るて、明月あたり天園に結ぶ で発生、矢様ばかりして しかが繁年、矢様ばかりして ものと、きみな なんてこごになるんぢゃない

かし、

初歩の研究會の指

一座はまたわらってしまっ

弾丸ではない の

で資金の獲得には不安なきるのとみられてある、かくて上を告げること、なつたが、形を告げること、なったが、形を告げること、なったが、形を告げること、なったが、形をお面は極めて變頭狭隘であることは免れないものとみられる 大共有なごゝあきれた質問を の女事秘談が、口をいれた このまへも、ロシアでは婚 ないれたできることでは婚 あんたでしたわね。 等になれてあるらしい篠田は もつれ目をごらへてすぐ本筋 ものれ目をごらへてすぐ本筋

引戻すここをわずれなか

極めて慎重の態度を持し、廿二日夜の砲弾落下事件につき 一日夜の砲弾落下事件につき

廿二日登園通】米極東|實絶對になしと否定し去つた

敵空爆による

死傷者氏名

ネル提督言明

だしたのは!」 さ、岩者は、すつかりてれ まつかになりながら 目をみはつてゐる女事都員のなにかいひたさうにして、 方にむかつて

らはれて戀愛や結婚問題を考べ方にさ は正し は正しい。女は品物ではない。

電業相談所

電業支店

新京丰本

8.55

11.45 3.37

やん

北支事變ニュース

怪談牡丹燈籠

男の貞操後篇

7.40 H 1 9.25 94 2.18 6.34 楽劇場 3.25

映岸

面御案内

① 資家御案內

◆建和街一〇八家賞三五圓二 望アバート・家主山本電話 2三四六八 ◆長春大街三〇二家賞二一個 貸間一室、家主中野利一電 話③四一四五 本日の空家

真里牆

雄作

へ質問しただけじやないか、 のて、おさけた舌をだしないって、ひよいと首をち ◇貨家賃間掲載祭

おこるなよ

にしろおつかねえからなりなっない

がら、小さなこえて

経済記者 出入拓殖経済記者側一行五名 水京の途にある東京滿線支社 水京の途にある東京滿線支社

/職は二十二日午前十一時よ 韓継灣部大臣盃争奪庭珠リー

興銀の潑瀬

圏に優先権獲得のため車道、

あだかも野外職業

聯隊幹部候補生として 廿一日韓國通】東京

二日中に着津

都西本願寺管長大谷光

入船町四ノ九小澤前

の挨拶、奥田審判長の注意あり興銀の中川君選手を代表して宣誓して入場式を終へ先ず期られた、新京庭球界の一位期られた、新京庭球界の一位期の散躍に厳な會場によって火蓋が長り白熱酸が展開されタイピスト難も加つた華やかな應役の歌躍に厳な會場は振ひ試合等頭となると行び和氣臨々裡にスポーツによる融和の一日を終了した各テームメンバー左の通り

要望されてゐたが近く當局に要し交通妨害をなすこともしばしばあるので、これに對しばしばあるので、これに對してしばしばあるので、これに對しての見地から取締り方をかねての見地から取締り方をかねて

小潔な水

B

嚴重に

あす二十三日)

飲料水營業取締規則

九月上旬には實施

來津するが、現職管 居留民慰問のた

▲木下秀教氏(會社員)二十 一日來京帝都本テル 一日來京ヤマトホテル 一日禄順氏(滿濛毛綾)同園 都ホテル 「根尾俊太郎氏(昌和祥行)

◆七・三〇國民歌語「新鐵道 「本程」(東京から神戸へ(東京) 「本程」(東京)流版雲へ八・ 「本程」(東京)流版雲へ八・ 「本預」(東京)流版雲へ八・ 「本預」(東京) 「本預」(中の大石 「本預」(中の大石 「本預」(中の大石 「本預」(中の大石 「本預」(中の大石

い品を

往 來

今晩の主なる御島放送一

週間の豫定で北支皇

韓大臣盃争奪リ

グ戦開し

すもの

何等かの對策に乗り出

ニュース映畵

所に當局乘り出す

上の對應策

た庭

球戦

H

のマ

ーチ鮮やかに

意義深く觀衆湧

で哈爾濱から來京、同陽ホテ

ルに投宿の豫定

錦州憲兵職長に榮轉した前閥

談に耽つて午後四時終了し

稻垣中佐離京

先生たちを中心に餘興、懐古され、諫山校長先生を始め諸され、諫山校長先生を始め諸なで催

廣場の日稼ぎ人達に

白菊校も盛會

残りなく晴れ天高く風寒やかり西公園球場に於て盛大に開り西公園球場に於て盛大に開

ドを一周して入場、関歌吹奏 で 程に 瀬洲関族掲場、伊藤本祉 担に 瀬洲関族掲場、伊藤本祉 の挨拶あり直ちに 新京倶楽部 対電楽蔵に入り関東軍小林大佐の始球式に依り大會の幕が ばと小林大佐の始球プースと小林大佐の始球プースと小林大佐の始球プースと小林大佐の始球プースと小林大佐の始球プースと小林大佐の始球プースと小林大佐の始球プースを

脚ましつ』立働くさまは涙だましいものがある、開戦以本 負傷兵の應急手當に不眠不休

隣の民家

ぎじたのである、女史はなきこまれた陸軍病院に なきこまれた陸軍病院に 近十さん(二二)と共に

が雄氏(官吏)同箋茶(氏(商集)同

大氏(三菱商事)同大氏(三菱商事)同

は鮮血に染

のは上海事際當時の活躍で有

第一線の

一へ棒ぐ

是氏(同)同 本男氏(營口商業銀行) 本男氏(營口商業銀行) はた氏(會社員)同 が見氏(三菱工業)同

洋食材料

御土產品

(同)同

働くさまは涙ぐ

壯烈無比な我陣中物語 谷口

【上海廿一日發國通】記者は虹口地區の○○除始めて北四川路の○○除を訪れた

の頂上で軍用電線の終しい文路附近で只一人

をばかりで未だこれといふをばかりで未だこれといふま柄もしてゐないのに、いまを知るとは残念だ 対虹中地帯に落下する敵追撃 の弾の炸裂する音を聞きなが ら記者は海軍士官集會所の陸

涙ぐまし 擊夕

はせず射撃を纏けてゐたがっまで頑張り喜んで死んで行つまで頑張り喜んで死んで行つました。故郷の者に私が最後 一等水兵の死

り通信の使命たる。○○部隊の理を行つてゐるのなると、○○部隊の 軍用電線 の修理 ・ ではわが部隊将士も否 ・ ではわが部隊将士も否 ・ ではれるが部隊将士も否 ・ ではれる。 の修理を完 めかとばか とばか とばか

慰問袋の

-献金等

日

の本社寄託

▲ 皇野龍男氏 連へ 連へ

二十一日發大

羽牟眼

科

循

する 縫

男に子優

熟秀練な

工る

+

名

を洋有服

電三四五五

祝町三丁目三

反映して屢報の如く各方面か袋は劂都市民の標意、赤鍼を

・前中に左の如き申込 西七馬路八號丸八古物商を訪 捜査顕出、目下捜査中であるが、動物を携帶去る十八日來京し 妻女イョ子さんより領營器に厘報の如く各方面か 刀二本及東郷元帥の書になる つたまゝ以來行方不明となり でまる以來行方不明となり でまる以來行方不明となり でまる以來行方不明となり である では、以來行方不明となり である

東憲兵艦司令部稲垣弘毅中佐は二十二日午前十時強はとで家族同伴赴任の途についたが家族同伴赴任の途についたが家族同伴赴任の途についたががあった を受けた。 一五〇大田大平氏から皇軍 一五〇大田大平氏から皇軍 でのつた

一五○太田大平氏から皇軍 一五○太田大平氏から皇軍 を新京特別市西三馬路八八土 木建築請負等今坂德大郎氏 から二十二日午前中皇軍尉 間の徽章ですがと慰問後五 個の寄託を受けた

刀を持つて す

妻が搜査願

る二十

一十名の屋鑒祭を營み終つ 解散した

一十名の屋鑒祭を營み終つ 解散した

一十名の屋鑒祭を營み終つ 解散した

可も昔に 懐かし

敷島高女同窓曾

い集ひ

111

小 店 員 募 集 市内に確實なる身元引受人を要 市内に確實なる身元引受人を要

新京老松町拾番地壓書持參當館へ出頭相成度

同

印

館

務員募集

=

=

三服

右應募者は至急履歴書及寫眞御送 の事 銀 市内に確省なる保證人要す

此段生前辱知諸彦に謹告仕校午後十一時五十五分死去致候間

警み可申候、

昭和十二年八月廿二日

ース第四、第五報は二十三日 から四日間新京ら滿各映畵館 に於て公開されると

銀パレス營業事務所

友人總代

淺細田宍吉小

郎郎久讓儀郎

井川崎

一太治

庄虎

親戚總代

戶村澤

日本橋通 戦(3)日三日へ 大事、入浴の設備あり

二十三日午後四時自宅で告別 氏五男忠さんはかねて病氣療 氏五男忠さんはかねて病氣療 日子後十一時五十五分死去 一十二日午後十一時五十五分死去

それでもなからいているとうとうとなるとなられたのでとからなからないのとのとのとのとのとのとのとのというと

電子・三三〇〇新聞の御申込は を望む 学服外交に經験有9

を望む を望む 新京吉野町一ノニニ 高 屋 注 身體現住にして努力者 保證人を要す

右志望の方は來る三十一日までに自筆履歷書本

人持参し弊店人事係まで來店相成度し

落築新

ます

忠氏(官吏)同國際 明氏(吉林稅務監督

て新築中の店舗漸く竣成致し同時に 從來通引立に預り有難く厚く御禮申上ます 今般豫上ます扨て弊店配町にて營業中は多 大の御残暑の砌り各位樣益々御多祥の段御 慶び申 り當所へ移轉營業致し居ります故何卒倍 の御愛顧御引立賜ります

通橋本日

オックスサ世界

八年度 3

雑で映畵界文壇各方面の有力 者間に寄々之が善處策につき 考究を重ねられつ」あったが 比程號に具態案を得近く華々 しく新興大泉に於てとの第一

- リン及其オーケストラーリン及其オーケストラーリンの有石な樂曲より- リュの有石な樂曲より

新電 話 3) 右骨設致しました

右増設致しまし

御注文輻輳何時も話中で皆樣

海外映畵短信

第一歩を踏み出すことゝなりを清算し輝やかしい難生へのを清算し輝やかしい難生への

大泉に返咲き

音樂家動員 愛國聯盟

撮影所だより

ール、ジェル ト、作詞作曲ボ ト、作詞作曲ボ 調管した調管したのでは、またのではでは、またのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、また

カレて月末までに製作 変國歌を詩人と作曲家と協 の歌、塹壕の歌、無敵空軍 歌、塹壕の歌、無敵空軍 歌、塹壕の歌、無敵空軍 が、無敵空軍

闘朝した原節

子はこの程入洛30スタデオ入りをした 本パラマウント社で歌劇「お 腰子を起用して音樂その他 の企畫に當らしめると傳へ られたが、目下の處「な樂 たれたが、目下の處「な樂 たれたが、目下の處「な樂 たれたが、目下の處「な樂 たれたが、目下の處「な樂 たれたが、日下の處「な樂 たれたが、日下の處「な樂 たれたが、日下の處「な樂 たれたが、日下の處「な樂 たれたが、日下の處「な樂 たれたが、日下の處「な樂 たれたが、日下の處「な樂 ではずれること

電 3=2163

握るロカア

駿

東一条通士三

(三)

三四

器番

機会はんな

新國難

夜景を俯瞰して

00

! 感式

3

で頭痛はごこへ行

つたやら

帝都廿六日からの「夕明」となった▲トリに使用の「腕白時代」エルの「腕白時代」エルの「腕白時代」エルの「腕右時代」エルの「麻った▲トリに使用の「カッカの三本、恐るが、おったるというなった。

0

0

DOAC P ピクター ポリドール

器



五新コンロー

國境の旗風 頭雨を衝いて のほんとア に 東京 に 北京 大花 が ない 大花 が ら が 後 の 交 えい 愛國の歌だと 元變發造製 社會式採 會汽器音器本目

夏 0 流· 行 品 は

赤木洋行て

県京島の教延ら 特に御相談に應じます 新京三笠町三丁目 御宴會以 電河二五八番

御 御 談

上

會

應

勉

强

是 非 氣 分 0 13 11: 吉 て

弊亭事永らく富士町にて營業中は格別の御 慰安處として御滿足を戴く樣相努めます たので過日移轉を了し同時

之是步三家

電花能

御 披

扨而 ます 皆様の 贔負に預り衷心御禮申上ます就きまして下記新築 れば何卒倍舊の御愛顧御引立の程偏に御願ひ申 に美妓増員一層内容を整へて時代に投合せる真に 中の家屋竣成致しまし 残暑の折柄各位樣益々御多祥の段御慶び申上ます

多い、殊に悪疫が跳梁するのも亦と健康を害ねるのは盛夏よりも、むし からです 残暑の頃に

七男の常用によって、それ 元氣を與へて記憶力を强化 一分の常用によって、それ での常用によって、それ に別の常用によって、それ の常用によって、それ

それ等の障碍や症狀から容易に脱す消化不良や食慾減退を防ぐ爲めには强化します。

御家庭に

お徳用瓶入二言教を園

が最も經濟的です



社會式株丹仁下森

(一)〇〇〇に於るわが陸門

除の作戦

(陸駿駿司令官)

(二)0000に於るわが陸戰隊陣地

(三)000に於るわが

廿二日日本人從樂員六百七名および響祭官は

空戰隊 〇〇〇隊 (駐蔣河濟)

鄉附近戰

した。

空部隊 長驅奮 わが海軍航空部隊

[上海廿二日發國通] 廿二日午後一時卅分海軍武官室發表=確報によるご 日漢口を空襲、多大の損害を與へ歸來せり

東京図通」廿二日午前十一時海軍省は副官談の形式で左の如く發表した

飛行塲を爆撃しこれに多大の損害を與へ全機無事に歸還せりおいては夕闇と煙霧のため爆撃を見合せたるも、その一部は更に漢口の北西三十四哩の孝感廿一日わが○○航空部隊の○○機は午後八時半長驅漢口および孝感方面を襲ひ、漢口方面に

「上海廿二日發國通」廿二日午後一時卅分わが海軍機○機は浦東附近上空に現れ敵陣地に爆撃

東の

を敢行した

體二百餘を遺棄

院サ八名、火傷三名、時の一名、時間一名、時間一名、大傷三名、 名、連日第一線に立ちわが○○軍を指揮してありたり、尚われに鹵獲された敵の職事三豪敵はわが陸戦隊○○部隊の勇敢なる薔職によ

楊岡浦方面にある第卅六師の迫撃砲弾だが、今朝來の

吉澄少尉以

日午後四時記者は○○縣 の船などが出動して敵部隊を 日午後四時記者は○○縣 の船などが出動して敵部隊を 関に立つた、脚下の大平 に天下の壯觀だ、日本軍の猛 は今中○○部隊の先頭部 整で大打撃を襲つた敵は味方 型千にのぼる敵大部隊と の死體を収容する暇もなく割 里村、揚子崗のあたり 喇嘛塔にさす頃遠く敵を追ひ 中地が見える、砲器に交 喇嘛塔にさす頃遠く敵を追ひ 中地が見える、砲器に交 喇嘛塔にさす頃遠く敵を追ひ 中地が見える、砲器に交 喇嘛塔にさす頃遠く敵を追ひ 中心になるのだ、遙が彼 走した、かくて張烈な斜陽が 走した、かくて張烈な斜陽が 変っ砲艦は遠雷のやうに直繋 はい。

近づくのな

廿一日夜激戰

【上海廿二日發領通】われに 数倍する敵有力部隊の死者狂 やついけた偉動の○○部隊で は昨夜の激職ぶりを左の如く

直
ち
に
こ
れ
を
撃
退

19子崗方面の我戰死傷 午後四時までに判例したわが軍の死傷 子尚、 里村方面の戦闘に於る廿一日

多倫警備司令部佈告

『多倫廿二日登園通』○ 『の記録は多倫附近の良民 保護のため廿一日多倫に

青島の情勢愈よ險惡化

調客后田醫院 六四五六十 我戰死者

格闘し蘇なくこれを

使用せず

お省英に回答 「関連は本國政府の訓 人便館は本國政府の訓

飛行機を賣込む

古野同盟理事 廿二日朝來

間関とし對象をラマ僧にし七日の實施場所は甘珠にして田の實施場所は甘珠

敵戦車三臺を破壊す 我

戦隊

(廿二日午前海軍武官室發表)

り撃退せり、その後夜半に至るまで再三來襲せるもその都度見事な射撃により撃退せりに買興、蛇江路、東風江路の三路に進出峭集せるも、わが軍は沈清、敵を近距離に引寄せ機闘再び敵の來襲あり、敵は密集せる空屋を利用し、或は路上再び敵の來襲あり、敵は密集せる空屋を利用し、或は路上事件突發以來開北、北停車場方面の敵と動峙して東た四川

これた兵器多数に上れり、敵職車破壞は、廿一日楊樹浦でクリーク中に墜落された兵器多数に上れり、敵職車破壞は、廿一日楊樹浦でクリーク中に墜落された損害を興撃、わが軍も〇〇車と聯合これを遠へ撃ち明け方まで激職が行 正面を襲撃、わが軍も〇〇車と聯合これを遠へ撃ち明け方まで激職が行 一十九日以來再三東部方面に遊鑁を企圖せる敵は廿一日夜又復楊樹浦方面

張家口北日章旗高く飜へ 驅逐さる 內蒙長城線明朗化

くる廿一日午前十時には見事長城線を占領し日章旗を長城高く飜へしたの本棟張家口に投爆敵兵の心膽を塞からしめたが、飆東軍地上部隊もこれと呼應しの本棟張家口に投爆敵兵の心膽を塞からしめたが、飆東軍地上部隊もこれと呼應し関東軍は日渝共同防衛の立場より破邪順正の劍を輝ふに意を決し、廿日午後まづ敵側東軍は日渝共同防衛の立場より破邪順正の劍を輝ふに意を決し、廿日午後まづ敵 日本側の報道を採用 支那宣傳は抑ふ 獨逸のニュー

を行ふことに決定した、すな を行ふことに決定した、すな を行ふことに決定した、すな を行ふことに決定した、すな

に鑑みその宣傳放送には制限はち支那側の人民職線的性質

新文明を惠む

九月十日より五日間に亘り

・なった、右は新芬口及び銭 ・なった、右は新芬口及び銭

した最初の

で十一時温支那敗選兵、便衣 一部は白河野岸ロシア公 職の一部は白河野岸ロシア公 職の一部は白河野岸ロシア公 職所近より天津特別一區の大 連汽船碼頭に向け数十發發砲 して來つたが、わが○○部職 は直ちにこれを撃退、敵は死 は直ちにこれを撃退、敵は死 南京政府滙書貨



大、第四部東新巴族 大、同族職員(四) 大の他路般の客形式とも に成りとす。 大の他路般の客形式とも に定期市場とす。 大の他路般の事務に が、一二八名として が、一二八名として が、一二八名として が、一二八名として が、一二八名として が、英雄 が、大き が、大き が、大き でいる。 でい。 でいる。 でいる。

瓦 新京日本構通十八伊関商店が

明明なる競馬日和中本の悪天候に聊る水の悪天候に聊 りの馬場に 若月 (梶原) に偶然の大穴 碍の番狂せ 降雨後の馬場で當日の番狂せ 素り後晴れの盛况であつた、 素の後晴れの盛况であった、 **秋季第二次競馬初** は豫め既報の通りであるが、案外順調に進み、第四レースに終始で大穴をあけ好レースに終始で大穴をあけ好レースに終始 富小中向川藤石鎮西馬李太中吉永島川井村本倉永崎場田西田銀

美茂室病 意隨院入



は許されない、この町して自由に流通せしぬ てゐる を招待で

官邸に招待し、席上上海の事で邸に招待し、席時識會別集を決定した政府は、臨時識會別集に先た政府は、臨時議會別會に先 協力を要望 兩院代表

不穩計

排日

2

ル

支那人

1十三日 貴族院代表者 1十四日 貴族院代表者 1十四日 小會派代表者

行ふことに決定

日支事變追加豫算 定する方針である。これが査定 十億圓を突破せ 挙行されたがり

で、き日安事件費追加豫算に東京國通」臨時職會に提出

交通部管下 野球大會

京管理局、管理局、管理局、警は哈爾漢那政總局、新來天管理局、管理局、警は哈爾溫和政總局、新來管理局、管理局、等以前務局、新來於經過,

大臣盃を纏る中銀、場内を湧き立せた、いよく 一下をもつて中銀幣 但仲して美技護出、腹接また 一下をもつて中銀幣 在作用的であり両者の力量な全く 主れて先づ興銀對中 裡に開始された流石に大事な 一下をもつて中銀幣 在作用的であり両者の力量な全く 一下をもつて中銀幣 在作用のであり両者の力量な全く 一下をもつて中銀幣 であり両者の力量な全く 一下をもつて中銀幣 であり両者の力量な全く 一下をもつて中銀幣 であり両者の力量な全く 一下をもつて中銀幣 であり両者の力量な全く 一下をもつて中銀幣 であり両者の力量な全く 一般であり両者の力量な全く 一般でありであるところで 一般でありであるところで 一般でありであるところで 一般でありであるところで 一般でありであるところで 一般でありであるところで 一般でありであるところで 一般でありであるところで 一般であるところで

廿三日優勝試合 韓大臣盃庭球リー 日 マシンガポール廿一日國通 ・ はますます。 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ ない。 ・ ない。 ・ は、 ・ ない。 ・ ない 勝

李草尚林朴海陳芝竹渡小石顆和經勝竹江林岡朴海李草小石陳芝福和經中向李太中吉富小川三石鎮西馬與 濟嚴 都田 野 下邊笠戶島田部 下 田 野 部笠戶 島田部川井 田西田永島村輪倉永崎場線

一穴▲ 院醫町深

実に移り桑えある優勝盃は 軍賞は中銀に授與された成績 の次の通り【寫真は優勝盃場 の次の通り【寫真は優勝盃場 女子・

最低 一四度六 前 七時四三分 後 七時四三分 一五度二分 一五度二分

阪売店

新炭よりも安し瓦斯代の三分の一丁・

▲經濟▼能

11.00 C 12.00 L 泰協金三 い装盤富着な **登合百貨** 店行祭井

吉野男公丁目・・・・(久) 0 用 新 命 村間写用

616347582 近鈴 行小村鈴櫻稻 電 計 木仁 藤勝 吉林上健井田

講師で ・ 1 本 ・ 2 本 ・ 2 本 ・ 3 番 ・ 3 番 ・ 4) 番 ・ 3 番 ・ 4) 番 ・ 5 番 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 6 本 ・ 7 番 ・ 7 番 ・ 8 本 ・ 6 本 ・ 7 番 ・ 7 番 ・ 8 本 ・ 8

W.

大式典の関都建設記念式のは大式典の関都建設記か年を記念する一九月十六、十七兩日に亘り盛一大に擧行されることに決定して

協和會員等一萬人は手に手に 同慶場で開催される豫定であ る、即ちこの日在京日浦學童 る、即ちこの日在京日浦學童

各議鐵バンド七十五名と新京 駅景はマイクを通じて中外陣をつくり大連、牽天、撫順 のでこの未曾有の一大肚観證を行ひ大同廣場に集合像で 員百名の吹奏につれてク建った場 して勇 壯なる國 民行 清鐵ブラスバンドを加へたた

十時の間不在中を霜降背版上午後十一時より二十二日午前年後十一時より二十二日午前

田(田)

、金八千九十七圓六十八錢 、金八千九十七圓六十八錢 、一十八針 、一十八針 、一十八針 、一十八針 、一十八針 、一十八十十二回六十八錢 、一十八十十二回六十八錢 、一十八錢

枚個

取本 扱社

語り入

金五圓。

金十圓、金三圓四十六錢

治外法權撤廢に開する ならぬ た、滿洲拓植公社の創立總 た、滿洲拓植公社の創立總 た、滿洲拓植公社の創立總 がならぬ では東京にかへらなけ ではならぬ ではならぬ ではならぬ ではならぬ ではならぬ ではならぬ ではなられるので

活

兼行演習を行ふことになつた 鐵ブラスパンド指導のもとに

電々勝

献金野球戰第

たくなつてよそのお家でおり、お支の兵職さんのお話を開いれ支の兵職さんのお話を開いたのでもあられば大力でもあられば大力ではなられば大力ではなられば、 日本の人間は、 おしい はんなつてよそのお家でおり、 お

のお金を北支の兵隊さん

高鳴

ではちょつともづ はちよつともづ に関行のお母あ や名まへはよろ 大きい方が皆 してあたし達献 中しますので連 中しますので連

により盛大に開催される により盛大に開催される、大口な関に於いて協和會の主催の主催を

戰

けふ大同公園に結ぶ東亞復興への協力 全面的专

全國民の意思內外に宣揚

れる、そのブログラムは次の臨ける全額民の堅く一致した臨ける全額民の堅く一致した。 支那民衆に與ふる書、慰問一、決議(皇軍感謝文、

假面

息子

貨

百饮八

街浴

六(民生部裏)

科齒合綜谷鹿

光線療法科

ニルビ陽常目丁三町設署入七人間(3) 監難

時八後午==時九前午 診休後午日祭曜日 ず非にり限の此は恵急

完

松水洋行

罪人には知らず警官と信じて

信電話會社應栽廣潮壽助公部大臣張峽相氏。滿洲公部大臣張峽相氏。滿洲

國民代表演說 本部宣傳科長)

花をいたないてそれを費つ てためたお金です、少いで すが北支の兵職さんにおく つて下さい、さようなら かとなるです。少いで かとなるです。

可愛いお嬢さんど

三少女の献金

新京商業県使同窓會本年便總 で開催、總會議事終つて一 関記念撮影を行ひこれより懇 した

佐渡郡二宮村平野澤笠井釜巌 が 罪の裁ぎを持つ身 で からの捜査願が

を参表示する管である。なられた國都の進展と國運艦盛の れた國都の進展と國運艦盛の

天順

月日王月日主

信信して兵役職係をどうしてる 外務省條約局長三谷監信氏は 大な非益雄(二九)は去る五 大の職出あった、尋ねられるの打合せをかねて滿洲視察の 大な非益雄(二九)は去る五 ため二十二日午後六時二十二 中場に逮捕され目下警察官なら 本書記官、各領事、坪上滿拓 なので逮捕以前に於ても窃盗 總裁その他多数の出迎へをう 地のき事三に亘つて新京署に「が輝頭で語る 兵金品

御知ら

世

菜营

老父悲しみの願出

検罪されたがその都度微弱處 の不逞漢でもつた、無事を働いても親にだけは悪人と知らせたくない良心があつたのか 警察官であると親を偽つてゐ たものであった

外務省條約局長 三谷氏來京

智名フランスキテル 福通 MCS)ELIEN

お申上可き處乍略樣不取敢以紙上御挨拶申上候候間何分とも倍舊の御引立の程御顧申上候一《念上御挨け御詫び申上候御蔭樣を以て全快歸京從前通り開業仕り養の爲歸國仕り居り候爲留守中は皆樣に大變御迷惑相掛酷者の砌皆樣益々御健勝の段率賀候 私儀昨年來病氣療

唸を生じて大野岬 ||味覺で立つ|| 食道樂 靑 機點 5 二九四二人

會終る 市 事券其他時價計 事券其他時價計

寄

清鐵運動部主催の市水泳大會 は二十二日正午から白薬町プ しルに於て擧行されたが觀栄 と呼び同四時盛大裡に終暮し を呼び同四時盛大裡に終暮し た、成績次の通り「寫眞は水

本の謎をあげたまよ會長の決 を見ず今日に及んでゐた新 京詩吟會は二十二日午後二時 から西廣場滿鐵俱樂部に役員 會合種々協議の結果會長に五 十嵐房吉少將を迎へることに 所場一致可決引載き午後五時 から同所に於て會長就任歡迎 から同所に於て會長就任歡迎

品が授興された 五十嵐少将

大额路路路

東和 ビル (電水ラデオの店牌) 舖

銀高價買入金銀賣買は専門店の 報知次第店員参上報知次第店員参上

診療時間

> +

ゲ

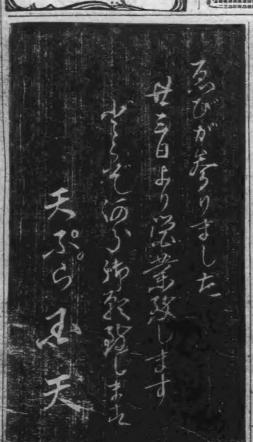
V

事 九務 九所

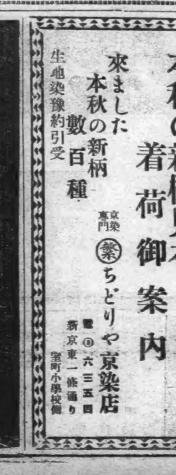
家 庭 次回後の 保険は大き 保險 電話(三)五六三〇 取 くて確實な 代级 は

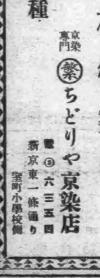
眼鏡。双眼鏡は 中初知識構成的原理科學院與科學院 專門店清眼 堂で 銀座キネマ前電(の)三二九二番

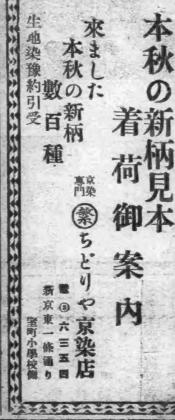












西學博士 士

もう一度相談のやり読しをやらう でも情用して、酷をさましながら

うしろから小十郎が、大き

第二部(四)黄れの一

能も行ってゐるわけちゃあるまいがず、まる行てとるわけちゃあるまい

彼女は、私いで、開絵につきま

でなった。

薬漆のかぶれ

はなけ

虚

大和運輸公司

型3六九〇八番 別越及雄鹿七木材料一般

かゆがり

響虫の刺傷皮

脂温

家賃六十個以上百衢迄家賃六十個以上百衢迄

庭造こ盆栽

幸ひ此處の無疑

『オイ、平岡、島田、そんなに念

だのか。三人とも和當に解って旨 かったのが、三人で、何處でのん

桐生市뻬書館長

二〇子供の時間(哈爾濱) 文配合唱 哈織女子合唱劇 合機女子合唱劇

三、〇〇經濟市況(東京、新四、〇〇ニュース(東京、新四、〇〇ニュース(東京)

女自

の人物が、馬くうどめいて帰す

ij

るの番組

日の出 観水田獨歩順作 上紋善配神色 上紋善配神色

にうまたげられて、物臓の種子は 境内の樹々を吹き渡る夜間の雪

なぞといふ想かならの胃薬が、 新年 は 日本

人體の高い武士が出て来ました。一人の説

二、乳和核下作 山脈有朋作 人名英格兰 整で呼びとめると、

の、砂磨筋にもたれる者、紅人は 所を贈の関リの薄板の境内へ、ロ 三人の相談といふのは、果して 葬設前の養體和に腰をかけるも しきりに打合せをや て行きました。そこを少し右に出って行きました。そこを少し右に出 いをおりて、柳田旅館町一丁目 金澤町との町家の間を見へはい 住民があるのでした。

あたりは一間に夜の駆けるの中 目艮

元賣發

振覧大阪五OK I 八番一京公 東京公王本の五三六番中京公

樂院支店

男

家傳名文义

文 京 東

機能表示への一の種に対していません。

聚院本店

新京版ケ校町ニノナ

信を立くたせ

凉氣の折

慶應看護婦會

もはえ薬フミナ

各一般女中及 臨時女中、看護婦、女給仕、 女店員、女事務員、タイピス ・其他超主及求職者は至急申 込れたし 込れたし

*

200



その上に

菌を殺し

なを消し

用法簡便にし

水樂派遣婦會 電話開通 電話開通 會員大夢集 會員大夢集

曾

親

番言品兒三語電

認公

顶

黄州北田

後半內地六錢

せず、臭はず

汚れぬ

電③二八二八

位公型元

極簡單

京。

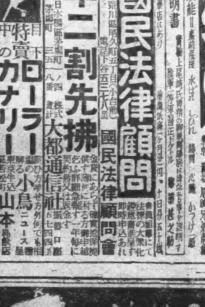
E

新京キネマ前

政

板八

年 國民法律顧 中特別の資子と 国家地門八部の様式大切の



るのだと云つて解釈 たります。一般 既の歌が吹き 版を能づて影 を指づて影 にしておくと

タイピスト 集部 自盟會本部(A井) 本會へ 10人名) 10人五

宋松接骨院 SE SI II O III SE

一十銭(香の物を変通り)

彩



温泉閣

特に皆様へ

氣分の新八

金庫・鋼鐵製家具(ステールキャピネット)

生田孝一商店金庫部

新京唯一の立喰

東一條橋詰 あれる

專門

二笠町ミノ九

造国請負貸盆栽園衙一切 新京新製路二〇七

新京永樂町

でのである。

三元

古光堂寮院 古光堂寮院 安心散







質月金融買 住賦 融買 九八一町船人 七大二大(3) 配 店話電本荻

投利便賃賃話電話回時金融 の質問は老師 なる常社へ!! なる常社へ!! なる情報を目費 なる情報を目費 なる情報へ!! ☆電話月雄部 ☆ 質・1・日出紀 毎・六・月出紀 日・六・月出紀 日・六・月出紀 日・六・月出紀

〇六九

人质股多博七郎 過級三厘 毎三七五四(8)整體

高級 作 行 河北九九月

施行 大連九 率天光

トオラリドタ 二台 三台 一台 1 台 **注理理品品要下** 台

大、五〇初等滿語講座(大連) 一〇、三〇經濟市況(東京) 九、〇五經濟市況(東京) 九、〇五經濟市況(東京) 九、〇五經濟市況(東京) 九、〇五經濟市況(東京) 九、〇五經濟市況(東京) 一〇、三〇經濟市況(東京) 一〇、三〇經濟市況(東京) 一〇、三〇經濟市況(東京) 一〇、三〇經濟市況(東京) さき (縣高化) 中川

一雨之助

ラを一丁目の袖押紹而の割へ売み ・ 護な観音の裏田園、田町の通 吹いて來ましたが、その冷たい中 内でその相談を持ちかけたのは、 と。竹の口から眼に小冷たい風が なくとの相談に乗りました。 同気相求むる例の鳥居織太郎に、 一つ穴の狐だから。剛人は殿職 どうせ行きがけの駄質だから、 と、十月中頭のある夜のと も、たんとか、胸のすしや 元郎の例人でした。 た。彼女は、 び変を現した 鎌倉河岸で、彦左衛門と、 を燃にまいた後の観系のお戯で お飯は、再び触病和荷の境内を 能かとおもったら、それは先後

長心郎君や永崇屋一家に、深く みを構って他の二人を鑑賞し、 の行動は、まるで とができました。 としてゐるととだけは、確めると かったが、とにかく爾官小十郎 を、十分に聞きとることはでき 高風に続げられて、三人の密談 東のやうで 報國姓名は生命發定五聖閣

がのやうに数に再 の病



代書

ひぜん 女給の説明 代書をまれず

ただれ 大黒津 東部

新家性の百貨店 の東四周路二八公建設社 が内東四周路二八公建設社 を加まるでも品 の第上年一の常店に限る の第上年一の常店に限る の第上年二フィ五 の第上年二フィ五 の第上年二フィ五 の第上年二フィ五 の第上年二フィ五 の第一年五 の第一年五 の第一年五 の第一年五 の第一年五 の第一年五 の第一年五 の第一年五 の第一年五 の第一年 の年 の年 の年 の年 の年 の年 の年 の年

が印書 第(の)二七四七

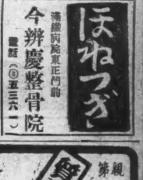
内地タヤげる電話即停配達 勉强引受 三泰公司 ロシャ菓子

松浦セイ子

母土曜日午後六時よ 明五曜日午後六時よ 中込所就町二十 営 中込所就町二十 営 教授

日日案內

ほねつざ



動

高買

物

ハキヤキ 御立寄下さ

新宿直航 新宿直航 新高级 以(月三四) 新藤最和九段

纯迅切一极取

●專屬荷扱所 例原建體會社各地支店 作天事務所 23 1 2 1 五 年天事務所 2 3 1 2 0 人本

四大阪高朝 元船株式會社 新京事務所

い高御

五日、十五日、北 り運 十日、廿日、廿日 歲丸州行近道